

NPO法人 緑のダム北相模

環境（森林）破壊という負の遺産を子孫に残してはならない



中学生から幅広い世代のメンバーで森林整備活動

NPO法人「緑のダム北相模」は、神奈川県相模原市相模湖周辺の民有林等の森林の間伐、枝打ち、下草刈等の整備森林をしている、森林ボランティアグループです。森林整備の他、間伐材の活用、ガーデニングなどの幅広い活動を行っています。

1998年8月から活動を開始、2002年2月には、更に活動の幅を広げる事を目指して、NPO法人の設立申請を行い、2002年8月に認証を取得、「環境（森林）破壊という負の遺産を子孫に残してはならない」という理念のもとに、森林整備ボランティア活動を続けています。2005年から2015年まで森林管理の国際認証であるFSC、FM認証をボランティア団体として世界で初めて取得しました。

1

森をつくる

間伐、枝打ち、下草刈りといった、いわゆる森林整備活動

2

森をいかす

間伐材を活用のために積み木のイベントなど

3

森とつなぐ

体験学校をはじめ、小中学生から参加できる



森をつくる

間伐した材を玉切りし、作業道まで搬出、集材し、乾燥させる



森をいかす

間伐材の積み木3万個を使い、木に親しむイベントを開催



森とつなぐ

自然を肌で感じ、互いに力を合わせ、協力して木を倒すこと

1

森をつくる

間伐、枝打ち、下草刈りといった、いわゆる
森林整備活動



2

森をいかす

間伐材活用のための
積み木のイベントなど



3

森とつなぐ

体験学校をはじめ、
小中学生から参加できる



緑のダムを卒業した若者たち

滝澤康至 (たきざわやすゆき)

マリンフーズ株式会社
現在は水産会社に勤務し、国内の原料や商品の仕入業務を行っています。人とのつながりを大切にしている姿勢を緑のダムとの関わりで培えました。今でも仕事に活かせる自分の財産となっています。



二藤政毅 (にとうまさき)

現在は静岡市の梅ヶ島という所で植栽～搬出までの林業作業の業務を行っています。これからは今まで学んできた知識や技術を緑のダムや相模原地域の発展に活かしていきたいと思っています。

齋藤駿一 (さいとう しゅんいち)

株式会社 木林士
静岡県浜松市天竜にて林業に従事後、現在は東京都にて育林業務を行っています。思い出は、嵐山で初めてチェーンソーで間伐した事。木を伐る意義や魅力を全身で感じ、その体験が今に繋がっています。



加藤 浩晃 (かとうひろあき)

観葉植物のレンタル業に就いています。緑のダムでは森に生きる植物が相手でしたが今扱っている観葉植物はオブジェとしての面が大きいので同じ植物でもまるで別物です。しかし生き物を扱うことに関して緑のダムでは多くの事を教えて頂き今もそれが生きています。



緑のダムから巣立った若者たちへ、贈る言葉

桜井尚武 (元森林総合研究所研究員)

相模湖駅の目の前に広がる「相模湖の森」、その山麓に育つ様々な木、木材生産のために植えて育てられているスギやヒノキもあります。森林が持つ多面的な機能を感じたかどうかはさて置き、都会にはない資源であり生活財である林産物、それを自分の手で、肌で体験し伐ったり測ったり遊んだりした経験はきっと今後の人生の糧になるでしょう。



斉藤理沙 (さいとうりさ)

(有)相馬造林
卒業から6年経ち、相模湖へ戻って来ました。いま私は林業事業体に在籍し、主に相模湖で森林調査や山主さんのやり取りなどを行っています。森とのより良い付き合い方を模索していきたいです。

植木 聡 (うえきさとし)

相模湖での活動を通し、地域に根差した活動の大切さを学びました。卒業後は地元の千葉県館山市にて苺と水稲を中心に新規就農。市場出荷や学生向け農業体験を行っています。



瀬戸 智大 (せとともひろ)

(一社)日本森林技術協会
小笠原諸島の森林生態系の修復や保全をしています。外来種と呼ばれる、人が持ち込んだ生物や小笠原在来生物と日々触れ合い、良い森とは果たして何なのかを考えさせられる日々を過ごしています。

塩谷 香代 (しおやかよ)

卒業後電子カルテメーカーに勤務、結婚を機に退職し現在は専業主婦をしています。緑のダムで教えていただいた事を糧に、日々の暮らしの中で木や森との関わりを模索しています。



治田世以良 (はるた せいら)

協同組合 上野原経木折箱研究所 所長
緑のダムの方々との活動を通じて木を使うことの大切さを学び、現在は隣市の上野原で杉や檜を活かす仕事をしており、木の香りが大好きでウイスキーにはまっています。

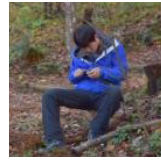


芦田 和彦 (あしだかずひこ)

緑のダム北相模での森林整備に参加して、森を守る事の大切さを学びました。今は都内でSDGsの推進や、様々な立場の方の事業をサポートする仕事をしています。

磯崎愛永 (いそざきかなえ)

林野庁に勤務。現在は鳥取で災害などで崩れた山を復旧する仕事に携わっています。時にやさしく、時に厳しい表情を見せる山ですが、緑のダムの皆さんから教えていただいた、山の見つけ方を活かして仕事に取り組み日々です。



釜谷優太 (かまたゆうた)

地域産の食材をつかった漬物を製造、販売する会社で働いています。フォレストノバの活動で培った様々な体験も仕事の支えになっています。

櫻井友樹 (さくらいともき)

株式会社ニュークイック
大学時代よりアルバイトしていた精肉店で販売、催事、新人研修担当として働いています。今後は北海道オホーツク地域に移住し、農家に就く予定です。嵐山や小原で得た経験や知識などを糧にこれからも頑張っていきたいと思っています。



西田 朋世 (にしだともよし)

都内の動物園に勤務
フォレストノバの活動で多くの人に出会い、一人一人とても刺激を受けました。少しの間でしたが、関わったことに感謝します。現在は、野生動物を多く扱う動物園で、来園者対応の仕事をしています。

社会に独り立ちして出て生きてゆくのは大変なことですが、まあ誰しもが通る道ですからなんとかなるでしょう。その過程で、あの林地にある様々な資源を有効活用する方策が頭に浮かんだら、仲間を集めて使ってみて下さい。そんな君たちを待っている林地は、今の日本にはアチコチにあるはずです。売るためにではなくて、使うために収穫し細工するというのが大事だと思います。余分があったら、欲しい人がいたら分けてあげれば良い、もちろんこれには対価を頂くのは当然ですが、楽しく仕事をするためには欲しいものを欲しい人と作って使うのが始まりだと思います。

北相模に集って得た経験とそこで得た仲間を大事にして、行ったところ、赴任したところ新しい仲間と新しい世界を作ってください。「一に健康二に安全」をモットーに楽しい世界を作ってください。

楽しかったこと、得意になって自慢したいこと

を見せびらかしに古巣「相模湖の森」に来てください。疑問や悩みがあったら、できたら、その時も「相模湖の森」に来てください。語り合ひましょう。誰かが似たような悩みを持っているものです。もちろん自慢したいことも持っている筈です。

もう一つ、Give and Takeという言葉がありますが、Give and Giveという行動も良いものです、対価を求めないだけ悩まなくて済みます。



「相模湖の森」で指導に当たる桜井先生

沿 革

1998年	組織と沿革	相模湖・森づくりの会として活動を開始	2012年	組織と沿革 主催イベント	コカコーラ環境教育賞優秀賞、全国大学生環境活動コンテスト準グランプリ (ForestNova)、杉並区学校文化栄誉顕彰 (地球環境部)、間伐材の積み木で東京駅舎をつくらう
2002年	組織と沿革	「緑のダム北相模」としてNPO法人化、代表理事、鈴木重彦氏就任 相模湖・嵐山の森、活動開始		助成金・ 補助金事業	神奈川県もり・みず支援事業、22世紀やま・もり再生ネット (2017年度まで)
	助成金・ 補助金事業	セブン-イレブン記念財団 (以後継続)、 国土緑化推進機構 (以後継続)	2013年	組織と沿革 主催イベント	麻布大学と連携協力に関する包括協定、 自然・文化がある幸せを次世代へ (国連大GEOC)
2003年	助成金・ 補助金事業	コメリ緑資金の会、損保ジャパン環境財団、世界自然保護基金、日本財団、イオン環境財団	2015年	組織と沿革	FSC FM認証継続終了、知足の森、活動開始
2005年	組織と沿革 主催イベント	FSC FM認証取得 小原本陣の森、活動開始 川崎ネイチャーフェスティバル (2009年まで)	2016年	組織と沿革	東京都大学第4回中高生環境社会活動グループ実践賞最優秀賞 (地球環境部)、第4回グッドライフアワード、環境大臣賞優秀賞 日本自然保護大賞入選
	協働事業	かながわボランティア活動推進基金21 (2009年まで)	2017年	組織と沿革	三鷹市教育委員会表彰 (地球環境部)
2006年	組織と沿革	代表理事、永井宏一氏就任		助成金・ 補助金事業	積水ハウスマッチングプログラム (以後継続)、パタゴニア環境助成
2007年	組織と沿革	国土緑化推進機構・会長賞受賞	2018年	組織と沿革	Forest Good 2018 (間伐・環境教育部門)、林野庁長官賞、JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2019 特別賞・優秀賞 (副理事長受賞)
2008年	組織と沿革 主催イベント	SPPサイエンスパートナーシッププロジェクト (東海大望星高校、2011年まで)、森づくり・モノづくりコンテスト (2011年まで)	2020年	組織と沿革	東京学芸大Explayground推進機構 GREEN TECH ENGINEER LABと協働プロジェクト開始
2009年	主催イベント	相模原市民桜まつり環境ゾーン (2017年度まで)		助成金・ 補助金事業	コンサベーションアライアンスジャパン (2022年度まで)
	協働事業	相模原市民協働事業提案制度 (2011年まで)	2021年	組織と沿革	さがみはらSDGsアワード2021、優秀賞
2010年	組織と沿革	代表理事、石村黄仁氏就任 FSC FM認証、継続審査に合格	2023年	組織と沿革	環境教育・ESD実践動画100選
2011年	主催イベント	第24回世界建築会議・UIA2011 東京チェアシティ展			

ご支援いただいている団体、協働・共催している団体

ご支援いただいている団体

一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
 公益財団法人 国土緑化推進機構
 積水ハウスマッチングプログラム
 (株) マルモ出版
 相模原市 さがみはら市民活動サポートセンター
 北都留森林組合 (山梨県上野原市)
 小原宿活性化推進会議
 長福寺 (相模原市与瀬)

協働・共催・後援いただいている団体

一般社団法人東京学芸大Explayground推進機構、東京学芸大学
 環境教育研究センター、NPO法人東京学芸大こども未来研究
 所、NPO法人こがねい環境ネットワーク、緑のダム北鎌倉、
 (株) 木林士、NPO法人さがみはら環境活動ネットワーク会
 議、NPO法人自遊クラブ、一般社団法人さがみ湖森・モノづく
 り研究所、東海大学付属高輪台高等学校
 相模原市、小金井市



NPO法人 緑のダム北相模
 事務局：〒 252-0172 相模原市緑区与瀬本町 12
 かどや食堂内
 info@midorinodam.jp



instagramでも日々の活動を発信中